



# 平成23年5月期第2四半期 決算説明会

大証2部 6496



株式会社 中北製作所

<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成23年2月7日 大阪

平成23年2月16日 東京



- I. 会社概要
- II. 平成23年5月期第2四半期 実績
- III. 平成23年5月期見通し
- IV. 今後の展望
- V. コーポレートデータ



# I . 会社概要



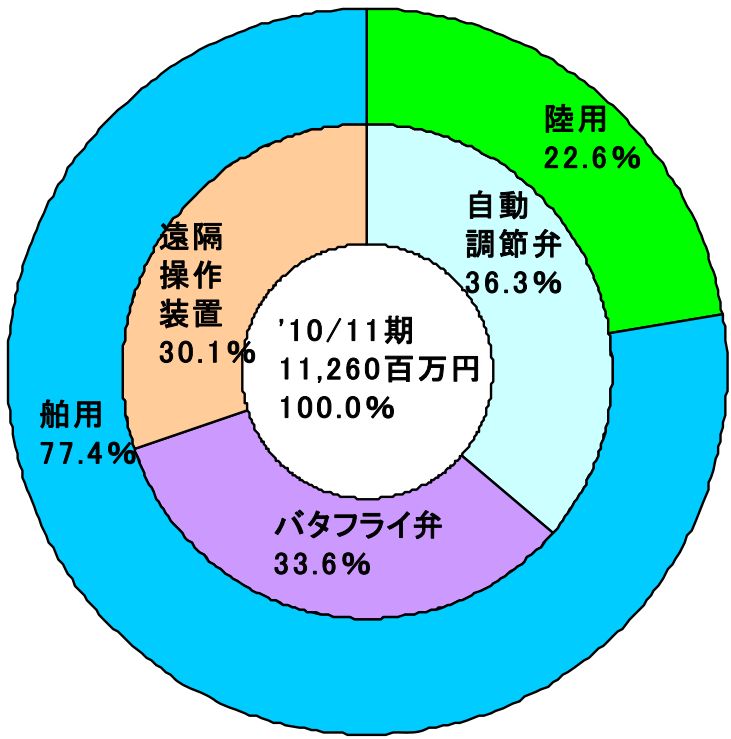
# 1.概要

会社名	株式会社中北製作所
代表者	中北 健一
所在地	大阪府大東市
設立	1937年5月
資本金	1,150百万円
事業内容	自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置製造
従業員数	366名(2010年11月末現在)



# 2.事業内容

当社は船舶や原子力・火力発電等の陸上プラント向けに、流体の自動制御システムとして下記の品種を全品受注生産により供給している



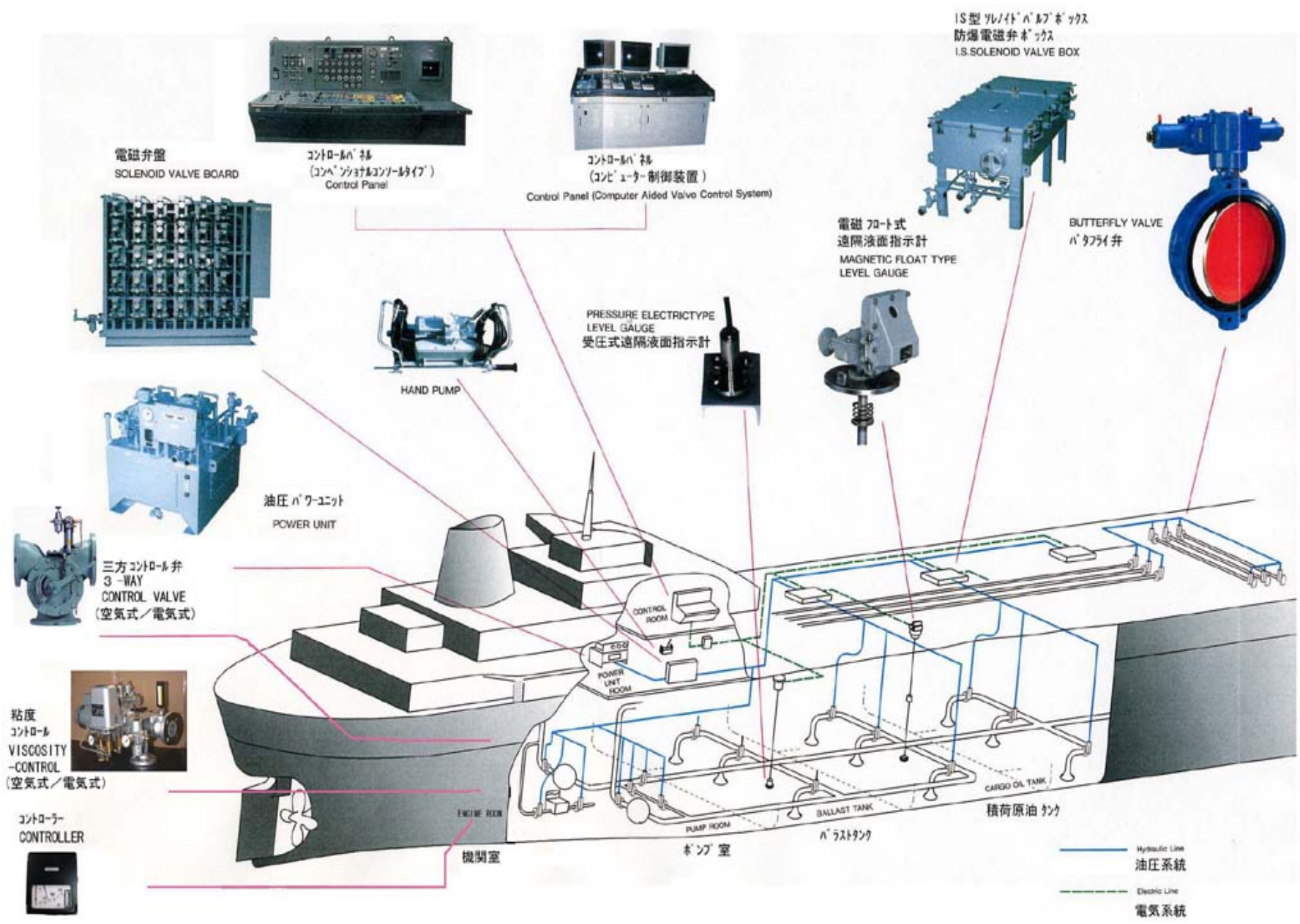
品種別用途

陸船別	用途		品種		
			自動調節弁	バタフライ弁	遠隔操作装置
船用	カーゴライン	タンカー		◎	◎
	バラストライン	全船種		◎	◎
	機関室	全船種	◎		
陸用	発電プラント	火力発電	◎	△	
		原子力発電	◎	△	
		ガスタービン発電	◎	△	
	製鉄プラント		○	△	
	造水プラント		○	○	
その他		◎	△		



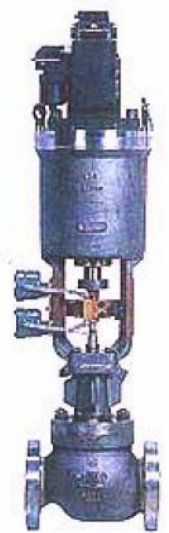
# 3.製品

## 船用荷役及びバラスト遠隔操作(バタフライ弁・遠隔操作装置・液面計)





# 火力発電所向けガスタービン用制御弁



燃料ガス制御弁

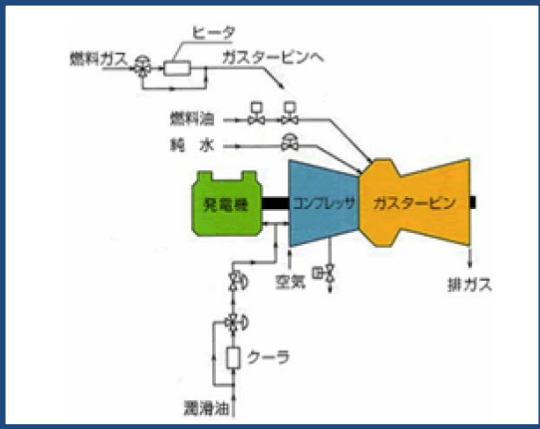


燃料ガス温度制御弁

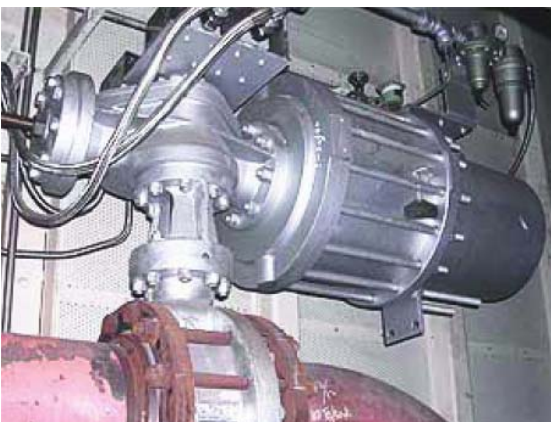


パージェアON/OFF弁

## 発電用ガスタービン



コンプレッサ抽気弁



潤滑油温度制御弁 潤滑油圧力制御弁



## 製鉄所高炉ガス焼きガスタービン用制御弁



燃料ガス遮断弁



燃料ガス流量制御弁



# 4.世界的な競合と差別化策

バタフライ弁、遠隔操作装置、機関室用調節弁を一括製造している唯一のメーカー  
 品質の信頼性ときめ細かなアフタサービス体制  
 →質・量ともに客先の注文に応えうる生産体制  
 →船主の細かい注文にも対応

	当社	アムリー	ダンフォス	キーストン	エースバルブ	アモット
	日本	フランス	デンマーク ／韓国	韓国	韓国	イギリス
遠隔操作装置	◎	○	○			
バタフライ弁 (カーゴ／バラスト)	◎	○		○	○	
自動調節弁	◎					○
LNGバタフライ弁	○	◎				





# サービス網

## 国内サービス網



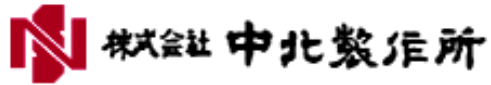
## 本社



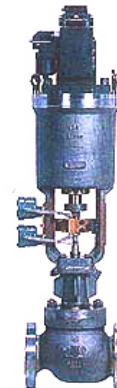
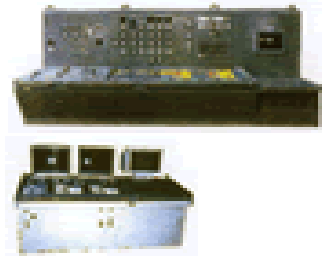
## 海外サービス網



# 5.中北製作所の特徴と強み～まとめ～



- 1.高品質・多種多様なバルブを最新の技術で生産・管理
- 2.船舶用のバルブはハード面だけでなくコントロールシステムまで一括生産・納入
- 3.国内全原子力発電所に納入実績を持ち陸上発電プラントにも強み
- 4.客先のニーズに対応した全量受注生産体制
- 5.他の追随を許さない高度な生産技術の蓄積と伝承





## Ⅱ. 平成23年5月期 第2四半期実績



# 1. 概要

単位：百万円、%、円

	09/11	10/11	前年同期比		10/11 期初計画	同期初計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	12,215	11,260	▲ 955	▲ 7.8	10,000	1,260	12.6
営業利益	1,200	1,007	▲ 193	▲ 16.1	630	377	59.8
経常利益	1,238	1,055	▲ 183	▲ 14.8	650	405	62.3
中間純利益	701	567	▲ 134	▲ 19.1	415	152	36.6
一株当たり中間純利益	36.62	29.65		21.67			
一株当たり配当金	15.00	10.00		10.00			
総資産	23,530	23,781					
株主資本	17,271	17,567					

■売上は船用を中心に前年同期を下回ったが、期初予想は上回った。

中国等の新興国需要や修理・メンテナンス関連の部品売上が予想ほど落ち込まなかった。

■営業利益、経常利益及び中間純利益についても前年同期を下回ったが、期初予想は上回った。

当期より設備投資を控えたことによる固定費の削減、全社的なコスト削減の効果も出ている。

## 2. 生産・受注・受注残の推移

生産高 単位:百万円、%

	09/11	10/11	前年同期比	
			増減	同率
			自動調節弁	4,072
バタフライ弁	3,871	3,747	▲124	▲3.2
遠隔操作装置	3,721	3,354	▲367	▲9.9
生産高合計	11,664	11,155	▲509	▲4.4

受注高

	09/11	10/11	前年同期比	
			増減	同率
			自動調節弁	3,550
バタフライ弁	3,122	2,939	▲183	▲5.9
遠隔操作装置	2,932	2,464	▲468	▲16.0
受注高合計	9,605	8,845	▲760	▲7.9

受注残

	09/11	10/11	前年同期比	
			増減	同率
			自動調節弁	4,857
バタフライ弁	8,083	7,170	▲913	▲11.3
遠隔操作装置	7,143	5,570	▲1,573	▲22.0
受注残合計	20,084	16,859	▲3,225	▲16.1

■生産(前年同期比4.4%の減)  
受注高減少により、生産高も各々減少した。

■受注高(同7.9%の減)  
最近の円高傾向による受注環境の悪化や造船市況の低迷により、受注高も減少した。

■受注残(同16.1%の減)  
生産・売上減を上回る受注高減少により、受注残は前年同期比16%の大幅減となった。



### 3.部門別売上高

単位:百万円、%

	09/11	10/11			
			増減	同率	構成比
自動調節弁	4,263	4,087	▲176	▲4.1	36.3
バタフライ弁	4,055	3,783	▲272	▲6.7	33.6
遠隔操作装置	3,896	3,389	▲507	▲13.0	30.1
合計	12,215	11,260	▲955	▲7.8	100.0

単位:百万円、%

	09/11	構成比	10/11			
				増減	同率	構成比
陸用	2,653	21.7	2,540	▲113	▲4.3	22.6
船用	9,562	78.3	8,720	▲842	▲8.8	77.4
合計	12,215	100.0	11,260	▲955	▲7.8	100.0

■ 船用が8.4億円(同率▲8.8%)、陸用1.1億円(同率▲4.3%)と船用の減少が大きい。



## 4. 地域別売上高

単位：百万円、%

(商社経由含む)	09/11	10/11			
			増減	伸率	構成比
国内	9,374	8,753	▲ 621	▲ 6.6	77.7
韓国	1,003	747	▲ 256	▲ 25.5	6.6
中国(香港)	1,711	1,467	▲ 244	▲ 14.3	13.0
その他	126	292	166	131.7	2.6
合計	12,215	11,260	▲ 955	▲ 7.8	100.0
輸出比率	23.3	22.3			

- 韓国向が前年同期比25.5%の大幅減の他、国内、中国向も減少。
- その他東南アジア向(特にシンガポール)が1.6億円の増加。
- 輸出比率は22.3%で1.0%の減少。



# 5. 損益計算書

単位：百万円、%

	09/11		10/11			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	12,215	100.0	11,260	▲ 955	▲ 7.8	100.0
売上原価	10,089	82.6	9,342	▲ 747	▲ 7.4	83.0
売上総利益	2,126	17.4	1,917	▲ 209	▲ 9.8	17.0
販売費・一般管理費	926	7.6	910	▲ 16	▲ 1.7	8.1
営業利益	1,200	9.8	1,007	▲ 193	▲ 16.1	8.9
営業外損益	38	0.3	48	10	26.3	0.4
経常利益	1,238	10.1	1,055	▲ 183	▲ 14.8	9.4
特別損益	▲ 19	▲ 0.2	▲ 60	▲ 41	215.8	▲ 0.5
税引前中間純利益	1,219	10.0	995	▲ 224	▲ 18.4	8.8
法人税等	518	4.2	427	▲ 91	▲ 17.6	3.8
中間純利益	701	5.7	567	▲ 134	▲ 19.1	5.0

■売上は前年比7.8%の減少。

■設備投資抑制による固定費の削減の他、全社的なコスト削減に努めたが、営業利益16.1%、経常利益14.8%の減少。

■特別損益で、有価証券評価損53百万円他を計上し、中間純利益は19.1%の減少となった。





単位:百万円

## 6. 貸借対照表

	10/5	10/11	増減	主要増減要因
流動資産合計	17,092	18,111	1,019	
現金・預金	3,838	3,879	41	前期下期比 売上増 1,054
売上債権	9,022	9,172	150	
棚卸資産	3,463	3,298	▲165	
その他	767	1,762	993	短期運用 1,000
固定資産合計	6,003	5,669	▲334	減価償却 241
有形固定資産	4,085	3,926	▲159	
無形固定資産	256	216	▲40	
投資・その他の資産	1,661	1,525	▲136	
資産合計	23,096	23,781	685	
流動負債合計	3,507	4,006	499	
支払手形・買掛金	2,563	2,965	402	前年下期比売上増に伴う仕入増
短期借入金	0	0	0	
その他	943	1,040	97	
固定負債合計	2,280	2,242	▲38	
負債合計	5,787	6,248	461	
資本合計	17,308	17,532	224	
負債・資産合計	23,096	23,781	685	



## Ⅲ. 平成23年5月期見通し



# 1. 概要

見込み

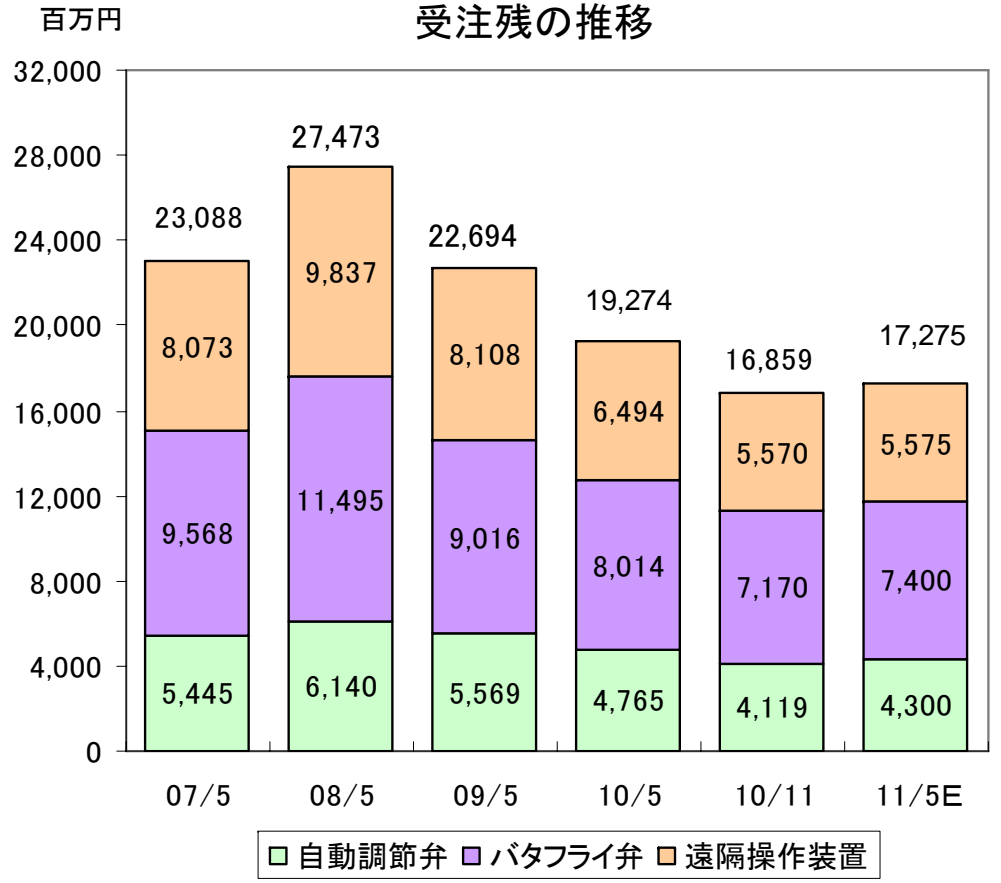
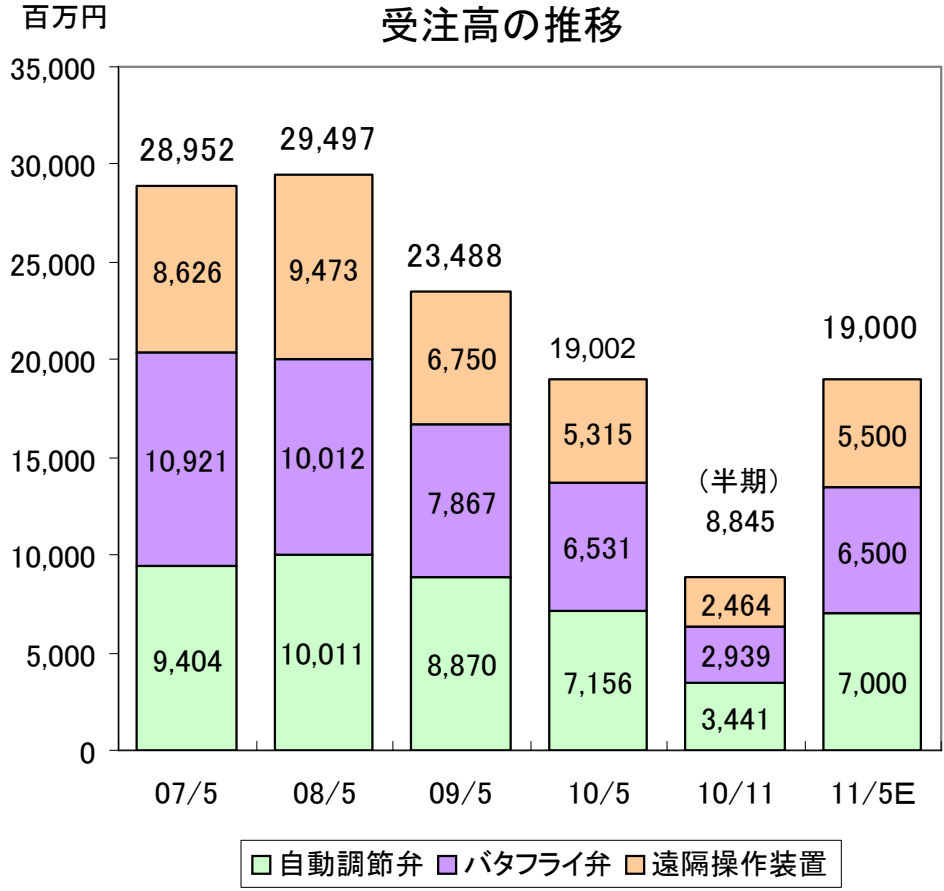
単位：百万円、%、円

	10/5	11/5E	前年同期比		期初計画
			増減	同率	
売上高	22,423	21,000	▲ 1,423	▲ 6.3	20,000
営業利益	1,841	1,650	▲ 191	▲ 10.4	1,260
経常利益	1,881	1,700	▲ 181	▲ 9.6	1,300
当期純利益	1,004	950	▲ 54	▲ 5.4	830
一株当たり利益	52.46		49.61		43.34
一株当たり配当金	30.00		20.00		20.00

- 通期計画については、売上、利益とも上期計画超過分を当初計画比加算修正した。
- 下期については、期初予想を据え置いた。



# 2. 受注・受注残の見通し



■ 受注環境は依然として厳しい状況にあるが、修繕需要の掘り起こし等に注力し、受注高190億円を目指す。

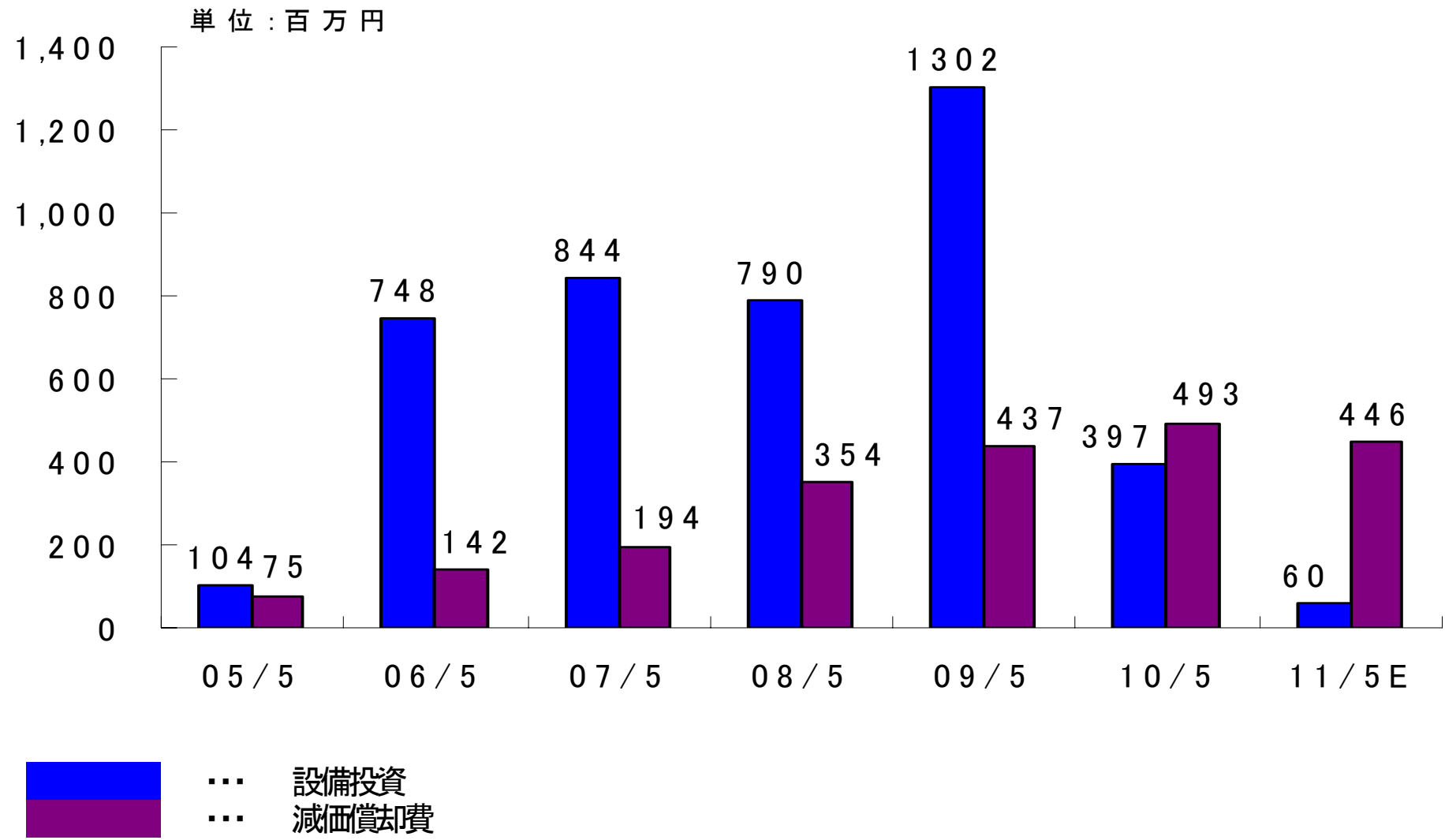
### 3. 損益計算書

単位: 百万円、%

	10/5		11/5E			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	22,423	100.0	21,000	▲1,423	▲6.3	100.0
営業利益	1,841	8.2	1,650	▲191	▲10.4	7.9
営業外損益	39	0.2	50	11	-	0.2
経常利益	1,881	8.4	1,700	▲181	▲9.6	8.1
特別損益	▲119	▲0.5	0	119	-	0
税引前当期純利益	1,761	7.9	1,700	▲61	▲3.5	8.1
法人税等	756	3.4	750	▲6	▲0.8	3.6
当期純利益	1,004	4.5	950	▲54	▲5.4	4.5

- 売上は期初計画を10億円上方修正し、210億円とする。
- 引き続き全社的なコスト削減に取り組み、受注採算の悪化をカバーする。

# 4. 設備投資と減価償却費の見通し





## IV. 今後の展望

# 1. '10/11期トピックスと'11/5期テーマ

## '10/11期トピックス

### ■研究開発体制の強化

今期から開発室を立ち上げ、研究開発体制を強化。

専任者3名

短期テーマ・・・現状製品の改良とコストダウン

中期テーマ・・・現状製品の延長線上で、コストを見据えた製品開発

長期テーマ・・・マーケットニーズに合った製品開発

## '11/5期のテーマ

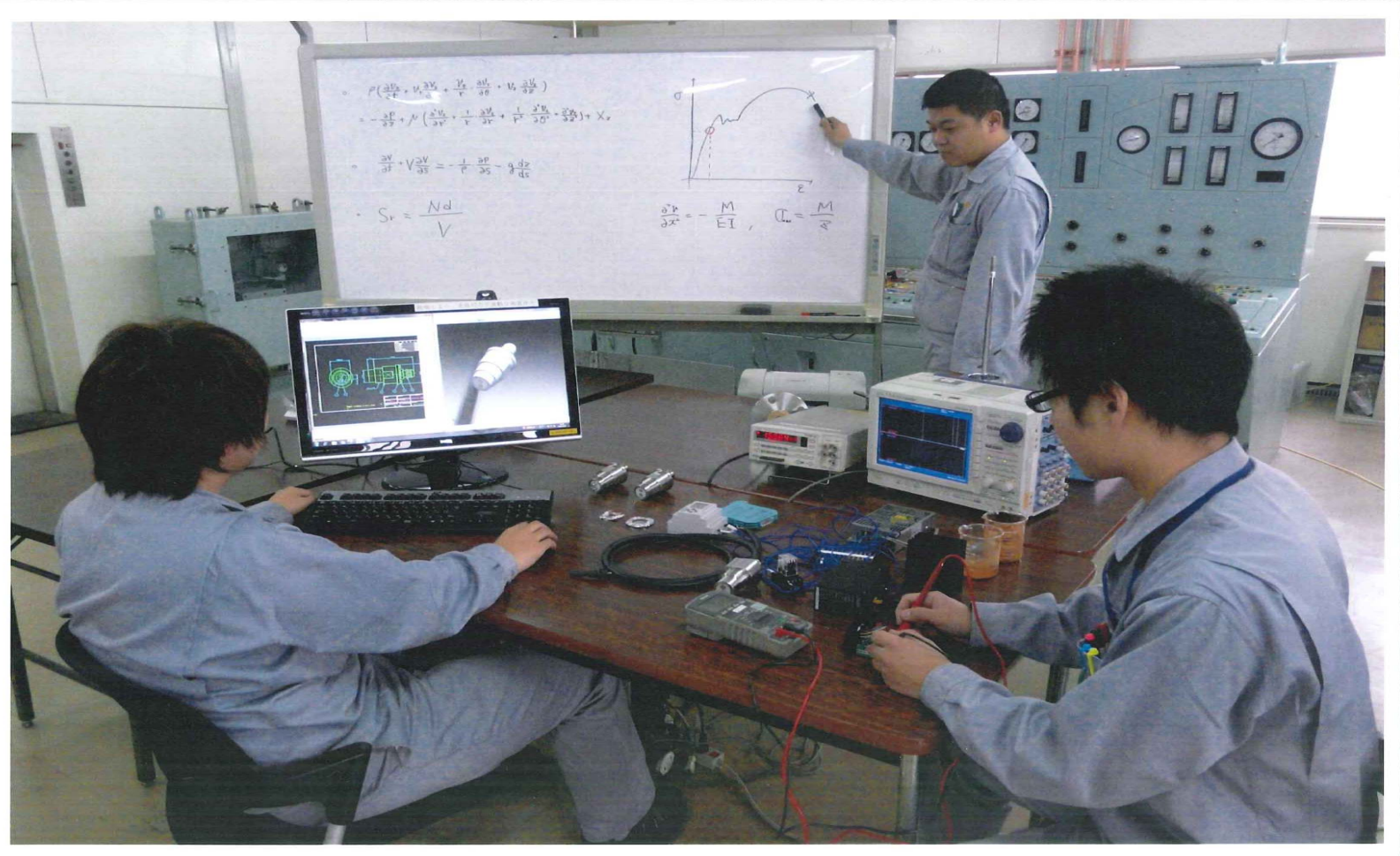
1. 低成長の時代にあって、自分で課題を見つけて考動する人材の育成
2. 次世代の需要に向けての開発力・提案力を全社挙げて向上させる
3. コストダウンとトータルシステムとしての受注展開の実現
4. 不適合・ムダの徹底的排除
5. 業務改善とスリムな体制作り





# 2. 研究開発体制の強化

## ■ 研究開発室の活動スタート



### 3.中長期的な経営戦略～

#### ■環境にやさしいエネルギー分野への注力

##### ○ 原子力発電

今後原発建設の増加を見込み生産体制を整備した。  
納入範囲の拡大を目指す。

##### ○ ガスタービン発電

今後世界的に需要増加が期待できるガスタービン向けの生産体制を既に整備済み。  
納入範囲の拡大を目指す。

##### ○ LNG船

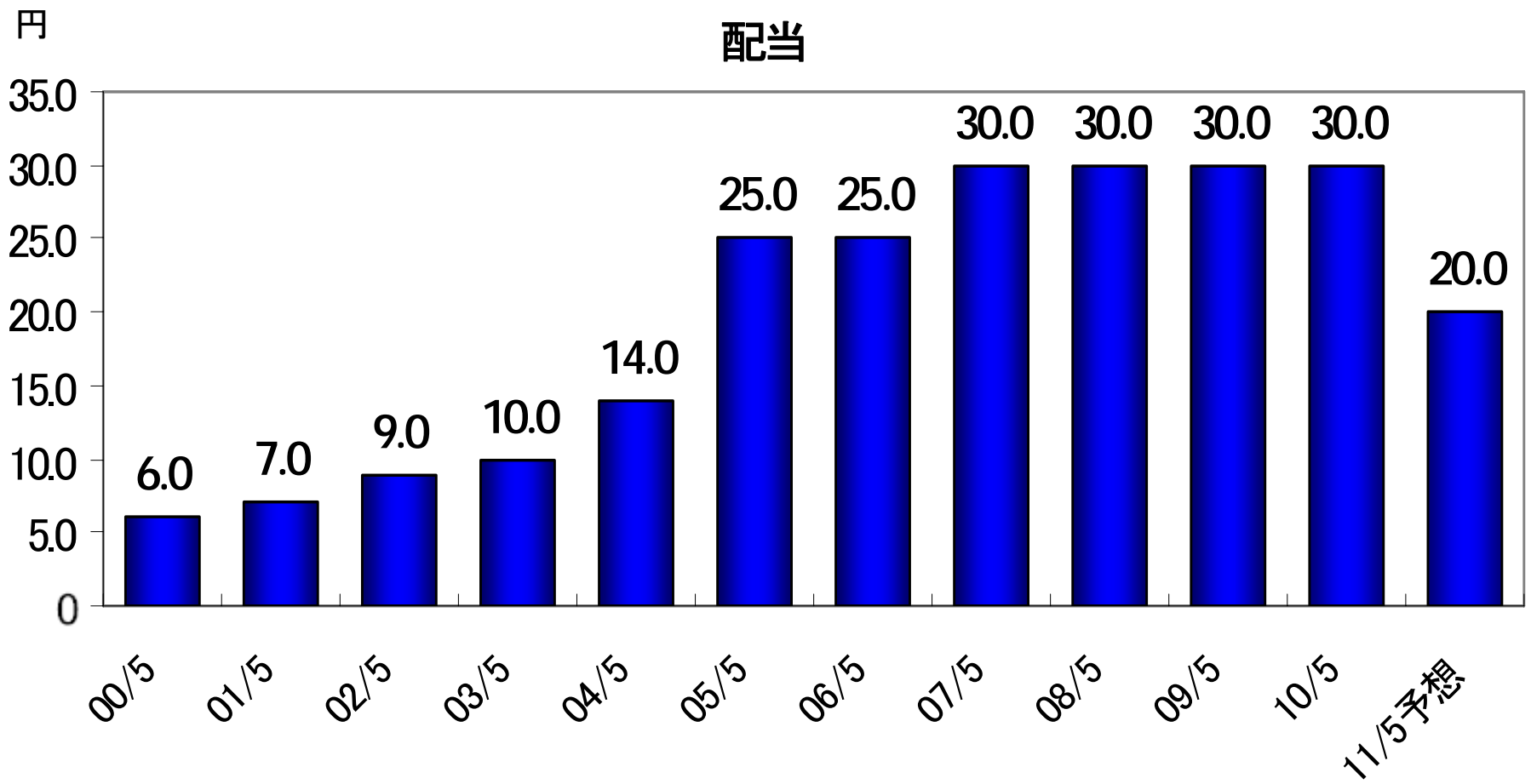
LNG船向け超低温バタフライ弁を開発し既に6隻分を納入済み。  
上記6隻の運行実績評価が固まり、LNG船の建造増加の際に本格参入を目指す。

#### ■利益管理の強化

○原価計算システム、見積りシステムの改善により、コスト構造の把握精度を向上させ、  
的確なコスト削減活動と、的確な受注活動に繋げる。

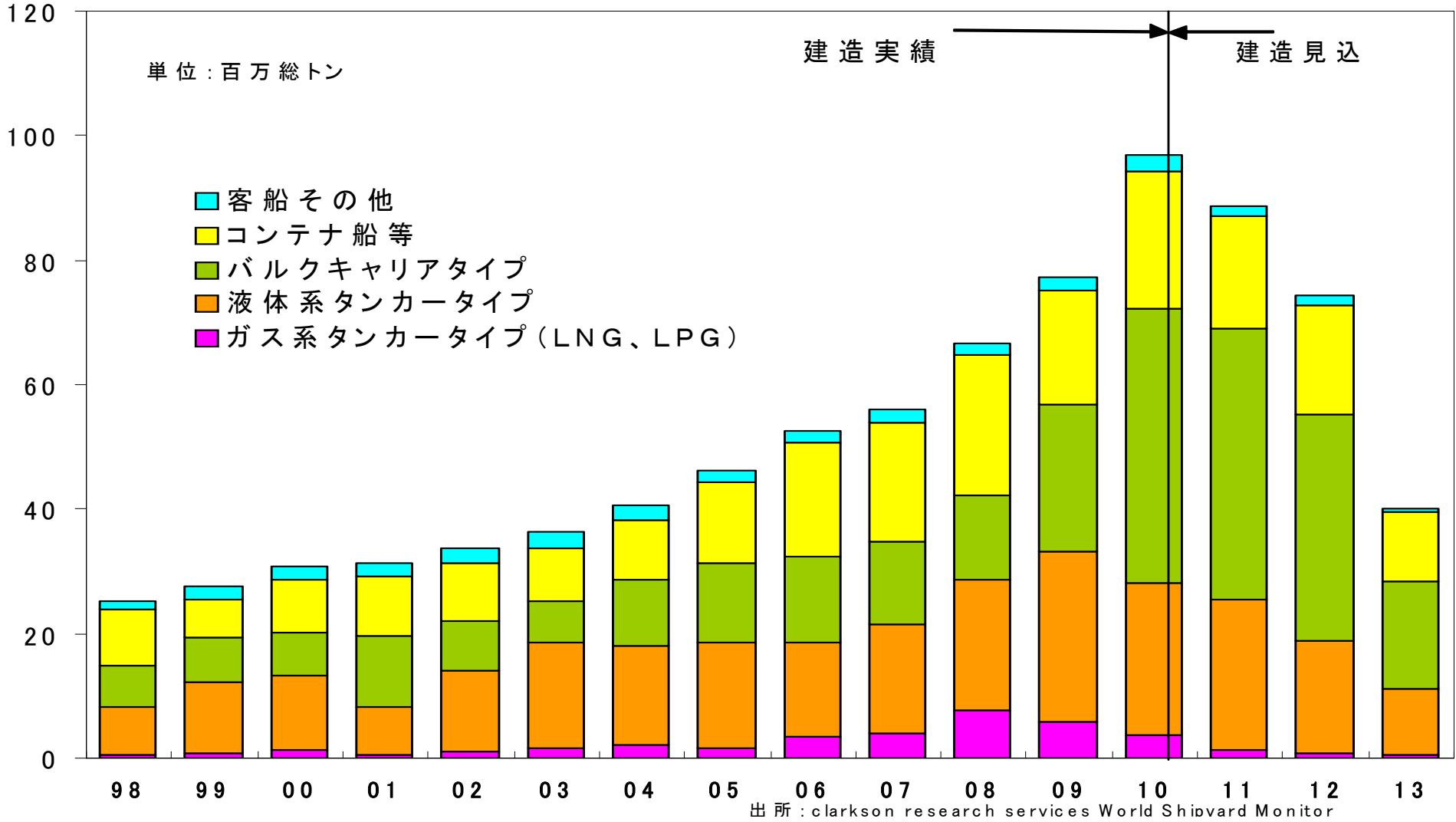


# 4.配当実績・予想



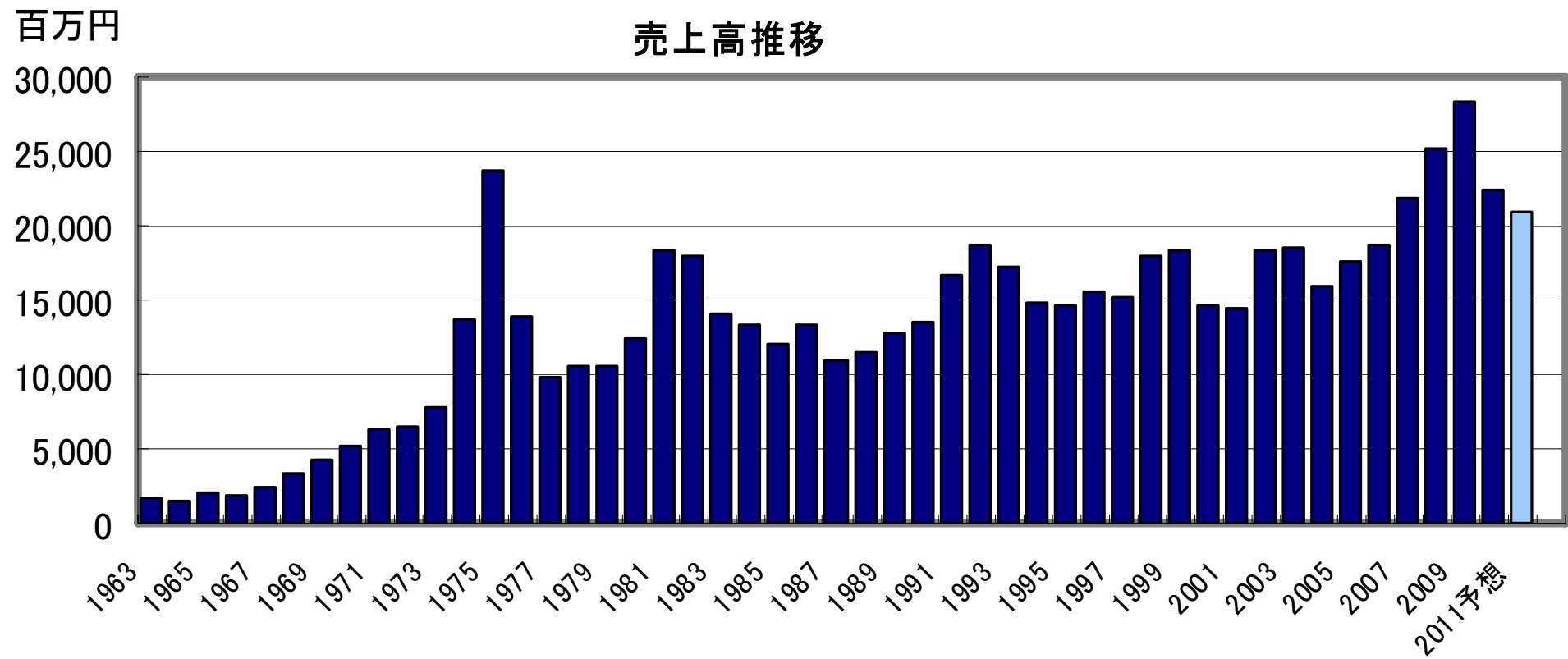
# 5. 船用分野市場動向～納期別・船種別手持工事量('10年11月現在)

■世界の船舶建造見込みは以下のとおり。  
 ■新規受注は、徐々に回復しつつあるが、この傾向が持続するか予断を許さない状況。



# 6. まとめ

■造船業界が先行き不透明なため、コスト・品質・納期面で競争力を高め、強靱な体質作りを図ると共に、今後成長が期待できる環境にやさしいエネルギー分野に注力する。





## V. コーポレート・データ



単位:百万円、%、円

	06/5	07/5	08/5	09/5	10/5	11/5E予想
売上高	18,629	21,897	25,235	28,390	22,423	21,000
営業利益	1,567	2,213	2,393	3,000	1,841	1,650
営業利益率	8.4	10.1	9.5	10.6	8.2	7.9
経常利益	1,589	2,248	2,423	3,006	1,881	1,700
経常利益率	8.5	10.3	9.6	10.6	8.4	8.1
当期利益	927	1,288	1,262	1,514	1,004	950
当期利益率	5.0	5.9	5.0	5.3	4.5	4.5
総資産	20,199	23,384	24,184	26,635	23,096	
株主資本	13,161	15,280	15,917	16,857	17,286	
株主資本比率	65.2	65.3	65.8	63.3	74.8	
株主資本利益率	7.0	8.4	7.9	9.0	5.8	
1株当たり利益	51.1	70.4	65.9	79.1	52.5	49.6
1株当たり配当金	25.0	30.0	30.0	30.0	30.0	20.0



単位:百万円

陸船別売上	06/5	07/5	08/5	09/5	10/5	11/5E予想
陸用売上	4,609	4,955	5,554	5,579	4,994	5,250
船用売上	13,896	16,818	19,557	22,687	17,428	15,750
その他	123	123	123	123	0	0
合計	18,629	21,897	25,235	28,390	22,423	21,000

品種別売上	06/5	07/5	08/5	09/5	10/5	11/5E予想
自動調節弁	7,975	8,927	9,316	9,441	7,960	7,600
バタフライ弁	5,311	6,532	8,085	10,345	7,534	7,000
遠隔操作装置	5,218	6,314	7,709	8,480	6,928	6,400
その他	123	123	123	123	0	0
合計	18,629	21,897	25,235	28,390	22,423	21,000

生産	06/5	07/5	08/5	09/5	10/5	11/5E予想
自動調節弁	8,010	8,895	9,272	9,481	7,658	7,600
バタフライ弁	5,339	6,492	8,047	10,390	7,257	7,000
遠隔操作装置	5,254	6,284	7,659	8,506	6,660	6,400
合計	18,603	21,672	24,980	28,378	21,577	21,000

受注	06/5	07/5	08/5	09/5	10/5	11/5E予想
自動調節弁	8,007	9,404	10,011	8,870	7,156	7,000
バタフライ弁	5,936	10,921	10,012	7,867	6,531	6,500
遠隔操作装置	5,781	8,626	9,473	6,750	5,315	5,500
合計	19,724	28,952	29,497	23,488	19,002	19,000

受注残	06/5	07/5	08/5	09/5	10/5	11/5E予想
自動調節弁	4,968	5,445	6,140	5,569	4,765	4,300
バタフライ弁	5,179	9,568	11,495	9,016	8,014	7,400
遠隔操作装置	5,761	8,073	9,837	8,108	6,494	5,575
合計	15,909	23,088	27,473	22,694	19,274	17,275



•本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。